

平成28年1月18日に千葉県いすみ市で発生した突風について  
(気象庁機動調査班による現地調査の報告)

1月18日01時頃、いすみ市深堀(ふかほり)から若山(わかやま)にかけて突風が発生し、非住家のトタン屋根のめくれなどの被害が発生しました。

このため1月18日、銚子地方气象台は職員を気象庁機動調査班(JMA-MOT)として派遣し、現地調査を実施しました。

調査結果は以下のとおりです。

(1) 突風をもたらした現象の種類

この突風をもたらした現象は、特定には至らなかった。

(特定に至らなかった理由)

- ・被害形状は帯状であったが、被害の痕跡や聞き取り情報から竜巻等と推定できる根拠は得られなかった。

(2) 強さ(藤田スケール)

この突風の強さは藤田スケールでF0と推定した。

(根拠)

- ・非住家のトタン屋根のめくれがあった。
- ・鉄筋のないコンクリートブロック塀の倒壊があった。

\* この資料は、速報として取り急ぎまとめたもので、後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。